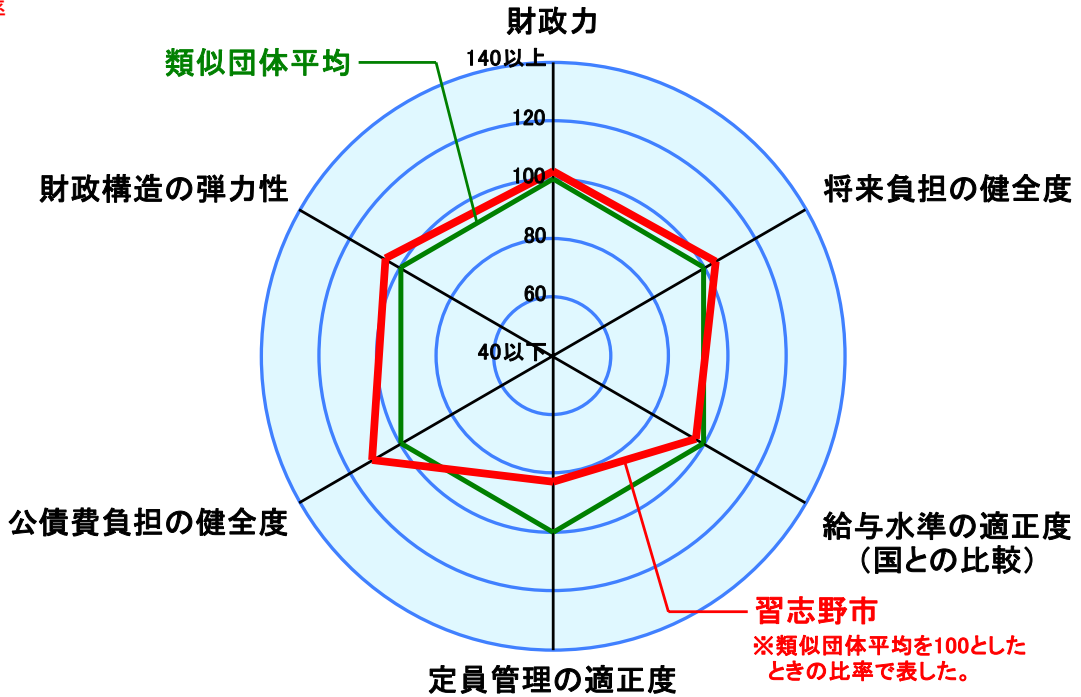
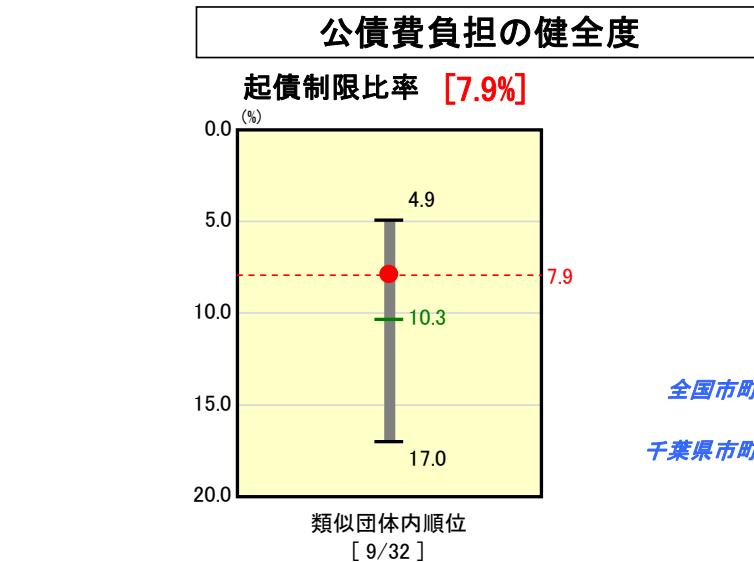
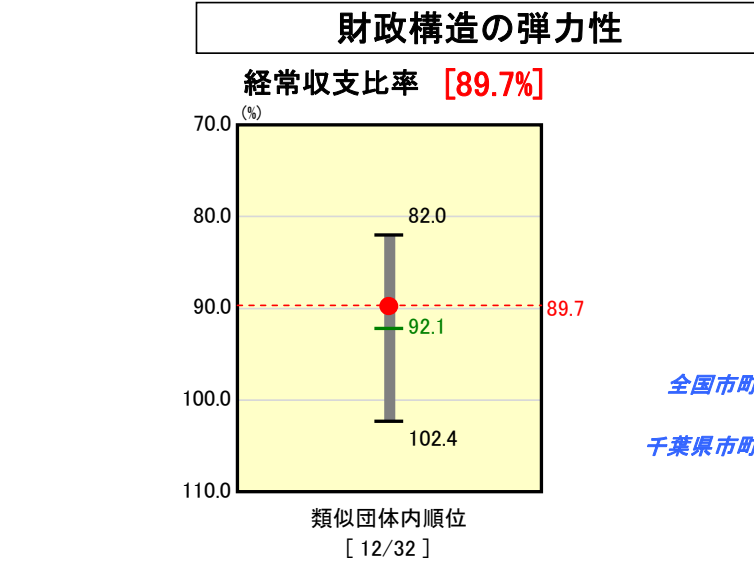
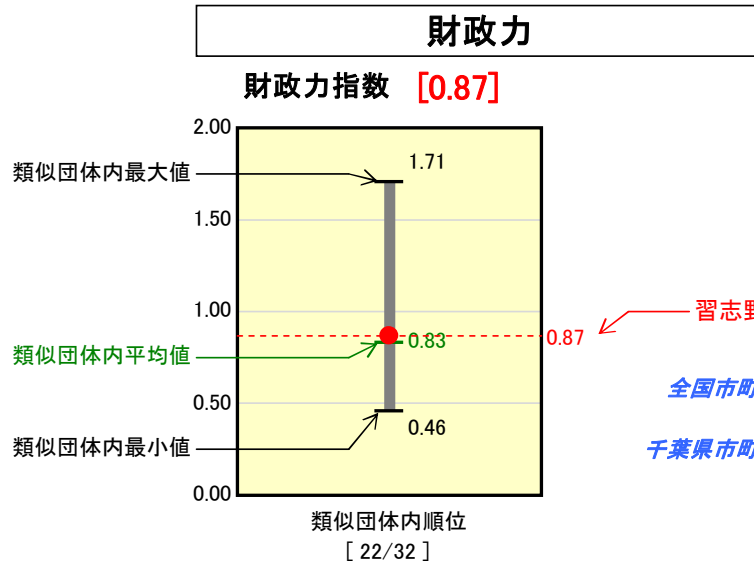


# 市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

## 千葉県 習志野市

人口	156,587人(H17.3.31現在)
面積	20.99 km <sup>2</sup>
歳入総額	43,171,556千円
歳出総額	41,461,426千円
実質収支	1,565,256千円



※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

### 分析欄

**財政力指数**: 本市の財政力指数は、類似団体平均よりはやや高い(財政力が強い)0.87となっています。しかし、平成7年度の1.02をピークに高齢者人口の増加や税収の減少などにより急激に低下し、普通交付税に依存した財政状況となっています。今後は国の地方交付税改革により、普通交付税の削減が進められると予想されることから、早期に交付税に依存しない自主・自立した財政構造に転換することが望まれます。

**経常収支比率**: 本市の経常収支比率は、類似団体平均よりはやや良好(財政構造が柔軟)な89.7%となっています。平成8年度は過去最高の97.2%となりましたが、行政改革を進めていく中で、人件費の削減等に取り組んできた結果、徐々に改善されてきています。しかし、依然として都市の適正範囲とされる75~80%を超える高い水準ですので、まずは平成19年度の経常収支比率を85%以下にする目標を掲げ、一層の経常経費の削減に努めます。

**起債制限比率**: 本市の起債制限比率は、類似団体平均より良好な(起債制限比率が低い)7.9%となっています。ここ数年は、普通建設事業費に係る起債の抑制に取り組み、低下しています。今後も債務の計画的な削減に取り組んでいきます。

**人口1人当たり地方債現在高**: 本市は類似団体平均より少ない263,367円となっています。財政健全化計画に基づき、債務の抑制に努めています。国の制度改正に伴い特例的に発行した、減税における減収を補てんするための減税補てん債や、普通交付税の振替としての臨時財政対策債が年々増加(平成16年度末残高が約139億円)し、地方債現在高は約412億円となっています。本市としては、債務負担行為や公共下水道事業特別会計における地方債を含む債務残高約955億円を平成19年度末に900億円以下にする目標を掲げ、債務の削減に努めていきます。

**ラスパイレス指数**: 本市は類似団体平均より高い99.3となっています。経験年数35年以上の階層区分に位置する高齢者層の指数が高い水準にあるため、平成18年度から国に準じて55歳昇給抑制措置を導入し、当該階層の指数低下に努めますが、全体的には国の基準を下回っており適正水準となっています。

**人口1,000人当たりの職員数**: 本市は類似団体平均より多い8.79人となっています。本市のまちづくりの基本理念である「文教住宅都市憲章」の理念を基に整備されてきた保育所、幼稚園、高等学校、ヘルスステーションなどの公共施設に職員を配置していることから、類似団体平均よりも多い職員数(1,376人)となっています。本市では、これまで特別会計や企業局も含めた全職員数について、平成8年4月1日の1,807人を平成19年度末には1,500人以下に削減する目標を掲げ、平成17年4月1日では1,540人まで削減しています。また集中改革プランにおける定員適正化計画では、平成17年4月1日の企業局を除く職員数1,441人をさらに100人削減する計画とし、職員数の削減に取り組んでいきます。

